

国際アマチュアオーケストラフェスティバル'99 in Ichikawa
第27回全国アマチュアオーケストラフェスティバル市川大会



the 27th **Amateur Orchestra Festival in Ichikawa**

August 6 - 8 1999 Ichikawa Concert Hall



the 27th

Amateur Orchestra Festival in Ichikawa

August 6 - 8 1999

国際アマチュアオーケストラフェスティバル'99 in Ichikawa 第27回全国アマチュアオーケストラフェスティバル市川大会

主催

社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟(JAO)
第27回全国アマチュアオーケストラフェスティバル市川大会実行委員会

共催

市川市
市川市教育委員会
市川市文化会館
千葉交響楽団協会
市川交響楽団協会
世界アマチュアオーケストラ連盟(WFAO)

協賛

トヨタ自動車株式会社
NEC

助成

財団法人 日本音楽財団 (日本財団補助事業)

協力

千葉県トヨタ販売会社グループ 市川市芸術文化団体協議会

後援

文化庁 財団法人 日本芸術文化振興会 千葉県 千葉県教育委員会 財団法人 千葉県文化振興財団 財団法人 千葉コンベンションビューロー
NHK千葉放送局 朝日新聞社千葉支局 毎日新聞社千葉支局 読売新聞社千葉支局 千葉日報社 千葉テレビ放送株式会社



市川市文化会館 千葉県市川市





大会会長 市川市長 千葉 光行

第27回全国アマチュアオーケストラフェスティバルが、市川市で盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

昭和47年の社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟の結成に際しましては、市川交響楽団、豊橋交響楽団の呼びかけに賛同されました全国23団体によりまして、翌年に第1回アマチュアオーケストラフェスティバルが開催されるに至りました。結成以来27年の長きにわたってアマチュアオーケストラの振興にご尽力いただいている連盟関係者の皆様に、改めて敬意を表する次第であります。

市川交響楽団は、千葉県におけるアマチュアオーケストラの先達として、まもなく50周年を迎えようとしております。この間、市川の音楽文化発展に果たした役割と功績は図り知れないものがございます。

今回の大会は、初めての企画として世界各地から演奏者が集まり合同オーケストラに加わり演奏を通じての国際交流も行われるなど話題の多いフェスティバルでございます。

市川市といたしましても海外、全国から集まった演奏者の皆様には、楽しい3日間を、演奏会を聴きに来てくださった皆様には、アマチュアオーケストラの迫力を味わっていただき、来年の開催地沖縄県にしっかりバトンを渡せるよう、精一杯がんばってまいります。

最後に、当市川大会を開催するにあたり多大のご支援を賜りました諸団体に厚くお礼申し上げます。



トヨタ自動車株式会社 取締役社長 張 富士夫

各地の音楽文化を担うアマチュアオーケストラ活動のさらなる発展の場として、長年にわたり開催されております全国アマチュアオーケストラフェスティバルが、今年もここ市川で開催されますことは、誠に意義深いことであり、喜びに堪えません。

社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟を中心とした全国のアマチュアオーケストラの活動は、年を追う毎に充実し、地域の音楽文化の発展に果たした役割と功績は図り知れないものがございます。

私どもトヨタは当フェスティバルや、全国で18年700回を数えるトヨタコミュニティコンサートなどのアマチュアオーケストラ活動をはじめ、音楽・美術・演劇といった幅広い分野で地域に根ざした文化活動を支援させていただいており、今後も「地域文化の振興」など豊かな社会づくりのお役に立てるよう、微力を尽くして参りたいと存じます。

当フェスティバルの成功とアマチュアオーケストラ活動の今後ますますの発展を祈念いたしますとともに、ご尽力いただいております関係各位に心より敬意を表し、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

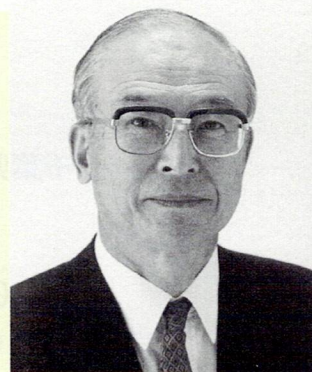
社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟 会長 神野 信郎

市川大会に寄せて

当連盟の第1回フェスティバルは、昭和48年愛知県の豊橋で開催されました。爾来27年間、全国各地を巡って本年は当連盟の創設に尽力された村上正治副会長のお膝元である市川市で開催されることはまことに感慨深いものがあります。千葉県では過去千葉市と習志野市で開催されていて今回が3回目となります。これはまさにアマチュアオーケストラの中心である千葉県ならではのことと感謝申し上げる次第です。

今世紀も残り少なくなり、なんとなくあわただしく落ち着かぬ世相ではございますが、今回も総裁の高円宮憲仁殿下のご光臨を賜り、過去のフェスティバルの歴史を塗り替える800名以上の出演者という最大規模の国際フェスティバルの開催されることを共に喜びたいと存じます。

ホスト役の市川交響楽団はもとより、文化庁、千葉県、市川市の関係機関、トヨタ自動車株式会社はじめ暖かい協賛を頂いている各方面の方々に連盟として深甚なるお礼を申し上げる次第です。



市川交響楽団協会 理事長 村上 正治

本日は「第27回全国アマチュアオーケストラフェスティバル市川大会」にご来場いただきありがとうございます。

ホストオーケストラの市川交響楽団、市響ジュニアオーケストラを代表して全国から集まった600名を超える参加者の皆さんと海外から参加された16名の方たちの合同演奏が、この市川市文化会館で2日間にわたり開催できることを心よりうれしく思います。

皆様ご存じの通り、千葉県は学校オーケストラ、アマチュアオーケストラが盛んな土地柄で、市川市、船橋市、習志野市、千葉市とそれぞれの隣町に100名以上の団員を持つ大きな団体が独自の音楽活動を続けております。

また千葉県や各市からは私どものクラシック音楽を通じての地域文化振興活動に対して多くのご支援をいただいております。

この大会期間中の8月7日に開催される「青少年オーケストラ演奏会」では、全国から集まった青少年による合同オーケストラの若々しい演奏が、翌8月8日にはプロフェッショナルの指揮者とコンサートマスターの指導のもと、全国から集まった音楽愛好家による社会人オーケストラの迫力ある演奏がそれぞれお聴きいただけることと思います。

最後になりましたがトヨタ自動車株式会社様をはじめ協賛を引き受けていただいた各企業の皆様には心より御礼申し上げます。

では、ごゆっくり演奏をお楽しみください。



8/7 12:30
フェスティバルコンサート'99
青少年オーケストラ演奏会

大ホール

千葉県少年少女オーケストラ 指揮：佐治薫子

Shigeko Saji, Conductor

Chiba Prefecture Child Orcestra

Georges Bizet (1838-75) ビゼー
Les Toréadors 歌劇「カルメン」第1幕前奏曲より
Prélude 'Carmen' 「闘牛士の歌」

Ludwig van Beethoven (1770-1827) ベートーヴェン
Ouverture 'Leonore' Nr.3 op.72b 「レオノーレ」序曲第3番

Johannes Brahms (1833-97) ブラームス
Ungarische Tänze Nr. 5 ハンガリー舞曲第5番

千葉県立千葉女子高等学校オーケストラ 指揮：粕谷宏美

Hiromi Kasuya, Conductor

Chiba Prefecture Lady's High School Orchestra

Hector Berlioz (1803-69) ベルリオーズ
Marche Hongroise 劇的物語「ファウストの劫罰」より
'La Damnation de Faust' op.24 ハンガリー行進曲

Johann Strauss II (1825-99) ヨハン・シュトラウス II
Unter Donner und Blitz op.324 ポルカ「雷鳴と電光」

Hector Berlioz (1803-69) ベルリオーズ
Ouverture 'Le Carnaval Romain' op.9 序曲「ローマの謝肉祭」

⊙ ⊙ ⊙

the 27th
Amateur Orchestra Festival
in Ichikawa
Youth Orchestra Concert
7. August 1999

JAOユースオーケストラ 指揮：山崎 滋
Shigeru Yamazaki, Conductor
JAO Youth Orchestra

Giuseppe Fortunino Francesco Verdi (1813-1901) ヴェルディ
Sinfonia 'La forza del destino' 歌劇「運命の力」序曲

Gustav Holst (1874-1934) ホルスト
The Planets 組曲「惑星」より
Suite for large orchestra op.32
i. Mars - The bringer of war 火星 - 戦争をもたらす者
ii. Venus - The bringer of peace 金星 - 平和をもたらす者
iv. Jupiter - The bringer of jollity 木星 - 歓楽をもたらす者

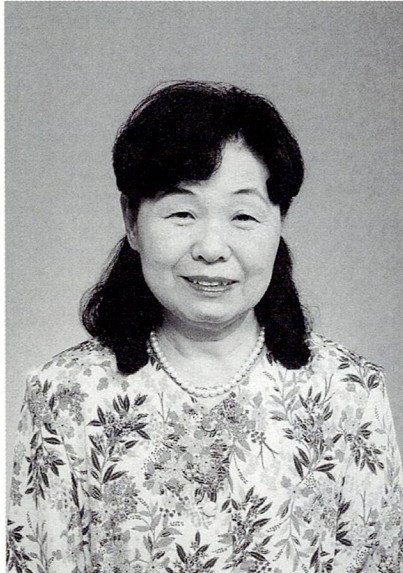
7. August 1999 1999年8月7日





the 27th
Amateur Orchestra Festival
in Ichikawa
Youth Orchestra Concert
7. August 1999

千葉県少年少女オーケストラ



佐治薫子（千葉県少年少女オーケストラ音楽監督）

昭和31年千葉大学教育学部音楽科卒業、同年松丘中学校勤務。白井誠・星野保由両氏の勧めで、リード合奏の指導に情熱を傾け、バッハの音楽を中心に演奏活動をし「山の中のバッハ先生」として全国放送された。全国優勝5回。昭和41年より船橋市立前原小学校でオーケストラの指導に専念し、全国優勝12回。昭和51年より谷津小学校にて全国優勝13回。昭和59年より鬼高小学校にて全国優勝8回。平成4年再び谷津小学校へ転任。全国優勝5回。教職40年間にはテレビ・ラジオ出演も多数。また、サントリーホール・NHKホール・東京文化会館大ホール・中新田バッハホール・カザルスホール等の招待演奏、ニュージーランド演奏旅行等も経験している。平成8年4月1日からは、千葉県少年少女オーケストラ音楽監督として活躍中。主な受賞「サントリー地域文化賞」「千葉県教育功労賞」「市川市民栄誉賞」「国際ソロブチミスト賞」「習志野市政功労賞」「キワニスクラブ教育文化功労賞」「千葉県文化功労賞」等。

出版されている本： 森 玲子著「バッハ先生と1000人の子どもたち」（二期出版）
森 玲子著「ひろがれぼくらのハーモニー」（講談社）

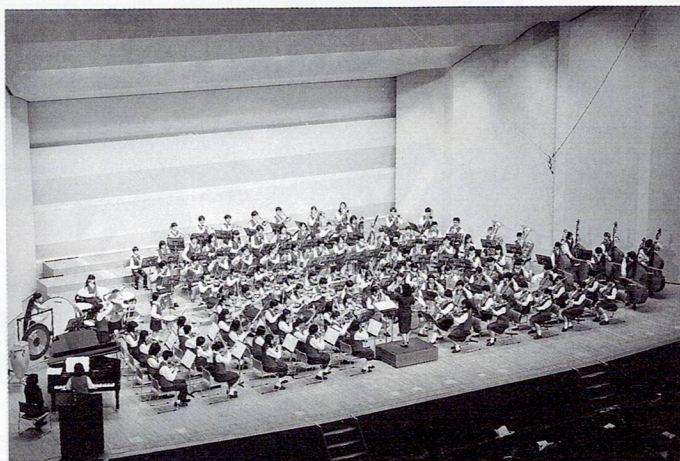
千葉県少年少女オーケストラ

千葉県民の音楽活動はたいへん盛んで、その質・量共に全国有数ですが、特にアマチュアのオーケストラは、一般・学生共に充実した活動を展開しています。このように恵まれた音楽環境の中で千葉県では21世紀を担う少年少女の豊かな音楽文化の促進とオーケストラ活動の普及を目的に、平成8年6月、佐治薫子音楽監督を指導者に迎え、県レベルでは全国初の「千葉県少年少女オーケストラ」を結成し、財団法人千葉県文化振興財団がその運営をしております。現在小学4年生から大学1年生まで約150名の団員が、『よい楽器で、よい音を出し、よい音楽をつくっていこう。』と、第1、3、5日曜日、第2、4土曜日に千葉県文化会館で練習に励んでいます。団員の中には、家から2時間かけて練習に参加する者、学校

から制服のまま駆けつける者と様々です。大勢でひとつの素晴らしいハーモニーをつくりあげるために、毎週の練習は決して生易しいものではありません。集中して練習したあとは、年齢・学校を越えた情報交換や楽しいおしゃべりに花が咲き、帰るのも名残惜しい…

そんな団員同士仲の良いオーケストラです。

年度をしめくくる定期演奏会では、これまでに故石丸 寛さん、現田茂夫さん、井上道義さんと、世界内外で活躍されている指揮者の方々をお迎えしています。このような方々を目の前にした定期演奏会前の練習は、団員たちの五感が一気に指揮者に集まり、普段にも増して緊張感いっぱいです。本日も、この良い緊張感が皆様のもとに感動となって届くように精一杯演奏いたします。



マイスター木村孝高等女子交響楽団立奏楽団

ベートーヴェン：

「レオノーレ」序曲第3番

ベートーヴェン唯一の歌劇「フィデリオ」は、無実の罪で国事犯刑務所に捕らえられている夫フロレスタンを、フィデリオという偽名を使って男装し刑務所に潜入していた妻レオノーレが救う、というもので、1805年に3幕物の歌劇「レオノーレ」として完成し、ウィーンでベートーヴェン自身の指揮で初演されました。しかし、演奏時間が長すぎるとの理由で失敗します。ベートーヴェンは1806年に新たに歌劇全体を短縮して2幕とし、新たな序曲を作曲して上演しますがこれも芳しい評価を得られずに終わります。のちの1814年にさらに台本に手に加えられ、「フィデリオ」と改題しさらに新しく「フィデリオ」序曲が作曲され最終稿となりました。本日演奏される「レオノーレ」序曲第3番とは1806年の第2版初演時に序曲として作曲されたものなのです。

ビゼー：歌劇「カルメン」

第1幕前奏曲より「闘牛士の歌」

歌劇「カルメン」は数多い歌劇の中でも最も人気の高いオペラの一つです。物語は、スペインのセビリヤを舞台に、煙草工場の女工カルメンとの恋に溺れた若者ドン・ホセが闘牛士エスカミーリョに心を移した恋人をナイフで刺し殺してしまうという非常に情熱的なものです。オペラは大成功を収めますが、ビゼー自身はその成功を知らないまま初演の3カ月後に世を去っています。そのため、作曲者自身による演奏会用組曲は残されておらず、組曲にはいくつかのバージョンがあります。本日演奏される「闘牛士の歌」は、第1幕への前奏曲の前半部分ですが、前奏曲と間奏曲を集めた「第1組曲」の中では、終曲とされている劇中最も有名な曲で、華やかなオペラの雰囲気余すところなく描き出しています。

ブラームス：

ハンガリー舞曲第5番

重厚な作風で知られるブラームスだが、それとは対照的にヨハン・シュトラウスのウィンナ・ワルツの大ファンであったことは、さまざまなエピソードから知られていますが、それと並んで非常に興味をもっていたのがハンガリー・ジプシーの音楽でした。20歳の折、ハンガリー生まれのヴァイオリニスト、レーメニーと共に演奏旅行に出かけたブラームスは、彼から聞いたハンガリー・ジプシーの音楽をピアノ連弾用に編曲し、ここから「ハンガリー舞曲集（全4巻21曲）」が生まれました。大人気を博したこの舞曲集はブラームス自身だけでなく大勢の編曲者によって多様な形に編曲され、今日に至っています。第5番は第1番、第6番と並ぶ代表作であり、短調でありながらきらびやかなその響きは忘れられない印象を残します。

ヴァイオリンI

- 明石美香
- 阿部志織
- 五十嵐かほり
- 伊藤 愛
- 伊藤雅純
- 大辻しおん
- 小川恭子
- 織田彩都子
- 加藤由美子
- 熊田ユリカ
- 子安和美
- 佐々木藍子
- 菅井直子
- 高橋 渚
- 高橋茉莉子
- 武井麻里世
- 恒岡真奈
- 坪井茉奈
- 中村 裕
- 中村幸恵
- 沼田樹奈
- 萩原菜穂子
- 待山ひとみ
- 丸山真以
- 嶺崎由依

三原久遠

- 山内綾子
- 吉井理恵
- 吉田和史
- 渡辺公志

ヴァイオリンII

- 青木佳織
- 秋元美保
- 浅井涼子
- 綾井治子
- 伊藤綾子
- 伊藤聡子
- 岩田慶太
- 上野安紀子
- 大数加千絵
- 岡田明日香
- 緒方友香
- 苅込彩香
- 川波悠衣
- 小泉侑子
- 潮見 薫
- 白井美千子
- 須佐芽里
- 鈴木晴恵
- 曾我佳代子

武井美幸

- 塚本礼生奈
- 坪井菜央
- 中澤幸平
- 橋本 望
- 星野かおる

山口有加里

- 山田菜々
- 横田彩子
- 吉田いつか
- 渡邊由梨香
- 渡邊涼子

ヴィオラ

- 阿萬美江
- 植村かや
- 宇田川夢佳
- 鶴野澤由貴
- 大滝麻衣
- 小菅ひとみ
- 近藤理恵
- 佐伯和子
- 佐藤 亮
- 潮見 渚
- 高橋悠香
- 田島寛子

野竹真由美

- 樋口陽子
- 三橋佐友里
- 武藤木帆

チェロ

- 阿川仁美
- 秋元美穂
- 石川奈緒子
- 宇田川愛佳
- 岡田真童香
- 片岡 薫
- 川口和美
- 木内智彦
- 清水亜裕美
- 鈴木悠理
- 武井理絵
- 中村 萌
- 西川明日香
- 能登原生子
- 野中泰士
- 橋本友希恵
- 花嶋玲美

コントラバス

- 会田朋子

赤羽 香

- 草階 愛
- 須佐莉恵
- 田中由美子
- 藤後夏子
- 橋口愛久美
- 山本郁美
- 渡辺淳子

フルート

- 五十嵐将也
- 川辺 翔
- 高梨英次郎
- 沼田絵恋
- 福田麻里
- 吉田仁美

オーボエ

- 大島亜紀子
- 田村志穂
- 中村麻衣
- 横山英里奈

クラリネット

- 稲垣麻衣子
- 大塚仁美

久保亜由美

- 星野慶太
- 前田裕介

ファゴット

- 浅野奈穂美
- 川畑雅実
- 渋谷幸子
- 寺坂亜矢子
- 長澤正和

ホルン

- 池田勇太
- 上田梨絵
- 大島和保
- 大村朋之
- 長屋 剛
- 原田亜由美
- 保里剛志
- 松藤 彩

トランペット

- 亀山真司
- 木川真介
- 塚田 恵
- 桧垣慶子

福永裕治

- 山下美紀

トロンボーン

- 白田克巳
- 木田未央
- 杉浦正枝
- 塚田隼也
- 富塚布美子
- 山口隼士
- 渡利洋子

チューバ

- 景山夏実
- 宮本江里子

打楽器

- 木村歩美
- 佐久間あゆみ
- 鈴木麻子
- 竹田亜瑞美

千葉県立千葉女子高等学校オーケストラ

粕谷 宏美 (かすや ひろみ)



1987年より県立千葉女子高等学校に勤務。合唱部、オーケストラ部を指揮し、全日本合唱コンクール全国大会や全国学校合奏コンクール全国大会に数多く出場している。オーケストラ部においては平成10年度全国学校合奏コンクールで4年連続となる全国最優秀賞を受賞した。この他、「フィオーレ管弦楽団」の音楽監督兼常任指揮者や合唱団「ルーナ・ヴォーチェ」の指揮者として各地において幅広い演奏活動をしている。

主な役職：全日本高等学校オーケストラ連盟理事長 全日本音楽教育研究会高校部会常任理事 千葉県高等学校教育研究会音楽部会理事長 千葉県合唱連盟副理事長 日本合唱指揮者協会会員 他

千葉県立千葉女子高等学校オーケストラ

昭和51年よりストリングオーケストラ部として発足。学校創立90周年に向け、昭和61年から少しずつ管楽器を加え、フル編成のオーケストラとして成長した。これまで数多くのイベントに出演している。平成4年に全国学校合奏コンクールに初出場、以来7年連続して全国大会に出場。平成7年から10年まで4年連続全国最優秀賞を受賞。部員は3年生を入ると200名だが、現在の活動は1・2年生135名で行なっている。海外の演奏家、団体との交流も多く、今年5月の定期演奏会にはゲストにウィーンフィルの首席チェロ奏者、ラファエル・フリーダー氏を迎え、ドボルザークのチェロ協奏曲を演奏した。2000年の3月にはドイツで開催されるジャパンフェスティバルやチェコのプラハでもコンサートを予定している。



青少年コンサート司会

田部 美恵 (たなべ みえ)



昭和63年、東京学芸大学教育学部卒業。平成3年～7年、エス・オープロ（押坂忍）所属。MXテレビ「お天気スペシャル」キャスター、テレビ埼玉「ふれあい戸田」リポーター、FM江戸川「ちょっと…しあわせ」パーソナリティーといったレギュラー番組をはじめ、テレビ、ラジオのリポーター、ナレーターとして活躍中。各種イベント、式典、結婚披露宴司会なども手がけるほか、東京ビジュアルアーツ専門学校、ブライダルプロデューサーズアカデミーの講師も務めている。習志野市在住。



ベルリオース：

劇的物語「ファウストの劫罰」より
「ハンガリー行進曲」

この曲は「ラコッツィ行進曲」の別名で親しまれており、こちらの名で記憶している方も多くでしょう。

「ラコッツィ」とはハンガリー独立運動の英雄の名で、この曲の主題にラコッツィに由来するハンガリーの国民的軍隊行進曲や同じメロディが用いられている「ラコッツィ歌曲集」などからの引用が見られることからこの名がつけられました。この行進曲の主題はリストの「ハンガリー狂詩曲第15番」でも使われ、大変ポピュラーなものとなっています。

劇的物語「ファウストの劫罰」はゲーテの「ファウスト」に基づいたカンタータに近い劇音楽です。まれにオペラとして上演されることもあります。現在では管弦楽曲部分のみが演奏会に取り上げられることが一般的です。

劇中では、この行進曲は第1部の終わり、ファウストのモノローグと農民の合唱とロンドの後に演奏されます。

行進曲といえば勇ましく華やかなものを想像しがちですが、この曲はリズム的な中にも哀愁を帯び、弦楽器によるトリオも繊細さを湛えた端正な作品となっています。

ヨハン・シュトラウスⅡ：

ポルカ「雷鳴と電光」

大太鼓が「雷鳴」となって鳴り響き、シンバルが「電光」を模して炸裂するテンポの速いポルカです。

雷といっても曲は長調であり、あくまで陽気で楽しい作品です。

一説には、この曲はシュトラウスがパリ万国博覧会で見たクルップ製の巨大な大砲を雷になぞらえたものともいわれています。

ベルリオース

序曲「ローマの謝肉祭」

現在は演奏会用序曲として独立していますが、この曲は本来歌劇「ベンヴェヌート・チェルリーニ」の第2幕の序曲として計画されたものです。

ベルリオースの作品には「イタリアのハロルド」など、イタリア留学中の印象に基づくものが多くありますが、このオペラもその一つで、留学中のベルリオースが見聞した謝肉祭の印象を反映した作品です。

物語は、フィレンツェから来た彫金師ベンヴェヌート・チェルリーニと教皇財務官の娘テレザとの恋を軸に、テレザの父親や父親が娘の花婿にと目論むもう一人の彫

金師フィエラモスカが絡み、教皇クレメンスの登場を山場に大団円を迎える、というものです。

しかし、このオペラは初演からあまり高い評価を得られず、ベルリオースは度重なる改訂を余儀なくされることとなりました。その最後の成果がこの序曲です。

激情的な8分の6拍子で始まるこの序曲は、チェルリーニとテレザの愛のデュエットや謝肉祭の合唱など、オペラの主題をさまざまに織り込みながら展開され、オペラ固有の序曲を上まわる人気を誇る名曲となっています。

ヴァイオリンⅠ

因幡友香里
小泉敦子
小瀧美穂
佐々木典子
佐々木仁美
田中絢子
田中友子
谷本佳世
中嶋麻紀子
中元和香子
矢野裕子

ヴァイオリンⅡ

今橋玲子
大曾根恵子
亀井麻紀
河野麻衣

田中敏恵

田中蘭実
萩原寛子
藤木 愛
水尾聡子
宮崎里美
宮崎結花

ヴィオラ

秋野 恵
宇野綾子
川邊美香
篠岡はるな
白鳥いづみ
高村地英
田中ふみ

チェロ

今関ちひろ
宇佐美ひかる
宇都宮理恵
竹田淳子
冨本暁子
雪田絵美

コントラバス

征矢千佳代
田上明日香
中村仁美
和田 彩

フルート

織田円香

オーボエ
大河原澄香
田沢蓉子

クラリネット

志賀麻美
田中洋子

ファゴット

鈴木綾乃

ホルン

市野澤綾
鈴木彩乃
高山秋乃

星 円香

トランペット

阿曾麻友子
岡崎知子
澤村有香

トロンボーン

落合美公子
三枝理恵
中村有意

チューバ

仲村依里子
錦織千絵

打楽器

松木百合子
谷嶋あゆみ

the27th

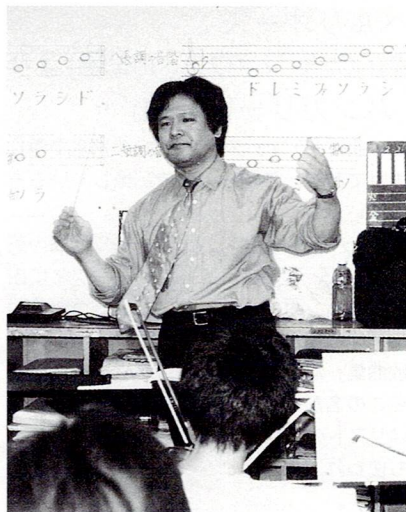
Amateur Orchestra Festival
in Ichikawa
Youth Orchestra Concert
7. August 1999

JA0 ユースオーケストラ

山崎 滋

東京生まれ。東京芸術大学音楽学部指揮科にて、指揮を（故）金子登、佐藤功太郎両氏に師事。又、ピアノを村山信子、竹尾聡子、ヴァイオリンを山岡箏、スコア・リーディングをH・ペイグ＝ロジェ、チェンバロをD・ヘルマン各氏に師事。在学中より二期会オペラの副指揮・合唱指揮者として活動を始め、若杉弘氏、小沢征爾氏等のアシスタントを務めるほか、オペラ研究生スタジオの講師として後進の指揮にもあたる。

アマチュア団体との付き合いも多く、市川交響楽団・同ジュニアオーケストラ、横浜フィルハーモニー、中野区民交響楽団、合唱団「枇杷の会」等の指揮者を務める。又、10年来の手兵であるマイ研究会管弦楽団・同合唱団を率いての初CD、バッハ「マタイ受難曲」全曲が、1992年10月に発売された。日本合唱協会第104回定期演奏会「フランス音楽の夕べ」でデビュー。新国立劇場音楽専門委員を経て、現在、新国立劇場（オペラハウス）勤務。



ヴェルディ：

歌劇「運命の力」序曲

歌劇「運命の力」はペテルブルクのマリンスキー歌劇場からの注文で作曲されたヴェルディ22番目のオペラで、1862年に同歌劇場で初演されました。その後ヴェルディはあまりに悲劇的に過ぎるという評のあった終幕を中心に改訂を行い、改訂版が1869年にミラノで上演されました。この序曲はヴェルディの他の序曲と同様オペラの中のモチーフを使って作曲されていますが、ドラマチックかつ精緻な響きは、ヴェルディ序曲の最高傑作とも評されています。

18世紀半ばのスペイン。カラトラヴァ侯爵の娘、レオノーラは恋人アルヴァーロと駆け落ちしようとするが父親である侯爵に見つかります。アルヴァーロは侯爵と争うつもりはなく護身用のピストルを投げ棄てますが、これが暴発し侯爵はこの弾にあたって亡くなってしまいます。逃亡の途中で二人は離れ離れになってしまい、アルヴァーロに捨てられたと思いきやレオノーラは修道院に逃げ込み、洞窟で匿われます。一方、アルヴァーロは軍人となって戦地に赴きます。ここでアルヴァーロの兄で戦友ドン・カルロに正体を暴かれ父の仇として決闘を申し込まれますが、からくも生き延びたアルヴァーロは修道院で身分を隠し神父として暮らします。一方ドン・カルロはアルヴァーロを探し出し修道院の

前で決闘となりますが、深手を負い瀕死となります。決闘の物音に驚いて洞窟の外に出てきたレオノーラは恋人と兄が決闘していることに驚き、瀕死の兄に駆け寄りますが兄は妹を最後の力を振り絞って突き刺します。レオノーラはアルヴァーロに天国で待つと告げて息絶えるのです。

ホルスト：組曲「惑星」より

スウェーデン人の父を持つホルストはイギリスに生まれ、ピアノ、トロンボーンなどを学んだ後ロンドンの王立音楽院に入学しますが、神経炎からピアノ演奏をあきらめます。しかしその後作曲家への道を歩みはじめ、ヴォーン＝ウィリアムズと知り合います。その後オペラ楽団やオーケストラでトロンボーン奏者として活躍した後、ロンドン近郊のハマースミスのセントポール女学院で教職につき、1934年にロンドンで亡くなるまで音楽の指導にあたりました。

近代オーケストラの代表作として広く親しまれているこの曲は、巨大ともいえる4管編成をとり、色彩感に満ちあふれた音楽となっています。ホルストは当時知られていた太陽系惑星（地球を除く7つ、冥王星は1930年に発見されたので作曲当時は発見されていなかった）を題材にして作曲したとされていますが、作曲家自身、これは標題音

楽でもなく神話の神々とも関係はない、と述べたこともあるようです。

火星—戦争をもたらす者（組曲中第1曲）

シェーンベルクやストラヴィンスキーの演奏会に行ったホルストは驚嘆し、特にストラヴィンスキーの「春の祭典」に衝撃を受けて当時としては全く革新的なオーケストラの使い方を考えつき、この火星で利用したのです。ホルストがこの曲を書き上げたのは第一次世界大戦が始まる直前だったといわれ、奇しくも全ヨーロッパを焦土とする悲劇を予見した音楽となりました。この曲を書き上げた後、ホルストは軍隊に志願していますが、神経症と視力が低いことを理由に軍隊には採用されませんでした。かくてこのような美しい音楽が私たちの許に残されることになったのです。

金星—平和をもたらす者（組曲中第2曲）

第2曲ではまるで火星への返答であるかのような穏やかで安らぎに満ちた音楽が広がります。金星はVenus、美を司る女神、ビーナスの星なのです。

木星—歓楽をもたらす者（組曲中第4曲）

Jupiterは全知全能の神、ゼウスをあらわしており、この曲はその名に恥じない全曲中最も雄大で喜びにあふれたものです。またその優美さからも最も広く知られている曲となっています。

コンサートマスター

松下あすか 市響ジュニアオーケストラ

ヴァイオリン I

青井尚美 岐響ジュニアオーケストラ
 Eivind Hasle Amundsen ノルウェー 一般
 開沼麻代 一般
 金子亜希 藤沢ジュニアオーケストラ
 川原朋 我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団
 喜多洋子 藤沢ジュニアオーケストラ
 桑野香奈 山陰フィルハーモニー管弦楽団
 小久保有 豊響ジュニアオーケストラ
 佐渡山鮎香 中城ジュニア・オーケストラ
 杉山佐保子 我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団
 続宏美 熊本交響楽団
 Aoillean Ni Dhuiil アイルランド
 名田有希 岐響ジュニアオーケストラ
 Chan Si-Ning シンガポール
 根本純子 厚木ジュニアフィルハーモニー交響楽団
 原田悠子 山陰フィルハーモニー管弦楽団
 久富望 岐響ジュニアオーケストラ
 日比野瑠璃 藤沢ジュニアオーケストラ
 Ollantay Velasquez ペネズエラ
 丸井章寛 厚木ジュニアフィルハーモニー交響楽団

ヴァイオリン II

伊藤和恵 岐響ジュニアオーケストラ
 井上朋子 熊本交響楽団
 指宿明星 宮崎ジュニアオーケストラ
 永徳丈 宮崎ジュニアオーケストラ
 加藤慶太 藤沢ジュニアオーケストラ
 加藤俊子 山陰フィルハーモニー管弦楽団
 幸前咲子 山陰フィルハーモニー管弦楽団
 小室乃律恵 市響ジュニアオーケストラ
 小室二美恵 市響ジュニアオーケストラ
 篠田さや香 岐響ジュニアオーケストラ
 田中太郎 市響ジュニアオーケストラ
 長嶺清香 中城ジュニア・オーケストラ
 中屋明乃 市響ジュニアオーケストラ
 二宮麻記 一般
 樋口綾 藤沢ジュニアオーケストラ
 見田村千晴 岐響ジュニアオーケストラ
 望月聖仁 市響ジュニアオーケストラ
 森真理子 藤沢ジュニアオーケストラ
 安原瑞枝 一般
 若山麻衣 岐響ジュニアオーケストラ

ヴィオラ

Jamie Arrowsmith カナダ
 市川勇氣 県立千葉高等学校
 大石真由美 名古屋シンフォニア管弦楽団
 大場紀章 岐響ジュニアオーケストラ
 片山由有子 宮崎ジュニアオーケストラ
 古澤健太 岐響ジュニアオーケストラ
 松原大五郎 県立千葉高等学校
 見田村みちる 岐響ジュニアオーケストラ
 湊口信吾 岐響ジュニアオーケストラ
 武藤雅美 厚木ジュニアフィルハーモニー交響楽団
 Ada Meinich ノルウェー
 森前智行 岐響ジュニアオーケストラ
 山縣恵美 県立千葉高等学校

チェロ

緒方大 宮崎ジュニアオーケストラ
 川口久美子 県立千葉高等学校
 川口芳夫 岐響ジュニアオーケストラ
 熊谷かおり 豊響ジュニアオーケストラ
 小宮正寛 船橋ジュニアオーケストラ
 佐渡山安理 中城ジュニア・オーケストラ
 志岐真 県立千葉高等学校
 津田佳典 市響ジュニアオーケストラ
 中塚絢子 市響ジュニアオーケストラ
 灘尾彩 山陰フィルハーモニー管弦楽団
 平岡路子 県立千葉高等学校
 牧野紘子 豊響ジュニアオーケストラ
 松下太郎 宮崎ジュニアオーケストラ
 森弘美 船橋ジュニアオーケストラ

コントラバス

小栗亮太 船橋ジュニアオーケストラ
 神山亜紀 中城ジュニア・オーケストラ
 川村希 船橋ジュニアオーケストラ
 小林裕子 船橋ジュニアオーケストラ
 斉加真澄 厚木ジュニアフィルハーモニー交響楽団
 Maeve Sheil アイルランド
 高田洋平 市響ジュニアオーケストラ
 高橋さくら 市響ジュニアオーケストラ

フルート

大平峰子 四日市交響楽団
 迫美陽子 岐響ジュニアオーケストラ
 笹島由香里 市響ジュニアオーケストラ
 佐藤春菜 市響ジュニアオーケストラ
 篠原梨恵 市響ジュニアオーケストラ
 高橋千裕 市響ジュニアオーケストラ
 田中友里恵 宮崎ジュニアオーケストラ

オーボエ

桐山依子 岐響ジュニアオーケストラ
 佐藤信子 一般
 竹口舞 藤沢ジュニアオーケストラ

クラリネット

赤松めぐみ 市響ジュニアオーケストラ
 鈴木梨央 豊響ジュニアオーケストラ
 内藤牧子 山梨交響楽団
 中屋志保 市響ジュニアオーケストラ
 服部舞子 豊響ジュニアオーケストラ
 本名大 市響ジュニアオーケストラ
 元永かほり 中城ジュニア・オーケストラ

ファゴット

伊吹直子 市川交響楽団
 坂神裕一 豊響ジュニアオーケストラ
 水谷哲 豊橋交響楽団
 宮里綾乃 中城ジュニア・オーケストラ
 向後崇雄 戸田交響楽団

ホルン

梶井華子 市響ジュニアオーケストラ
 北村宏樹 豊橋交響楽団
 佐野紀子 山陰フィルハーモニー管弦楽団
 佐野ゆかり 豊響ジュニアオーケストラ
 杉原ゆかり 岐響ジュニアオーケストラ
 山下裕史 豊響ジュニアオーケストラ

トランペット

赤堀美穂 市響ジュニアオーケストラ
 大平晶子 豊響ジュニアオーケストラ
 折本達也 市響ジュニアオーケストラ
 高見信行 横須賀交響楽団
 竹内良明 市響ジュニアオーケストラ
 吉田謙 市響ジュニアオーケストラ

トロンボーン

坂本佳奈 豊響ジュニアオーケストラ
 曾田健司 山陰フィルハーモニー管弦楽団
 宮城奈津子 中城ジュニア・オーケストラ
 山内麻友美 豊響ジュニアオーケストラ

チューバ

皆川一成 一般

打楽器

稲川絵里 市響ジュニアオーケストラ
 鈴木優美 沼津交響楽団
 時田裕 市響ジュニアオーケストラ
 矢内夏希 山陰フィルハーモニー管弦楽団
 山崎絵里 山陰フィルハーモニー管弦楽団
 吉田佳奈 宮崎ジュニアオーケストラ
 和田英恵 市響ジュニアオーケストラ

ハープ

佐野ひとみ 千葉市管弦楽団
 小橋ちひろ 賛助出演

チェレスタ/オルガン

高井規行 豊橋交響楽団



the27th

Amateur Orchestra Festival
in Ichikawa
Youth Orchestra Concert
7. August 1999

JAO ユースオーケストラと
トヨタ青少年オーケストラキャンプ

本日は私共のフェスティバルにおいて下さり、誠にありがとうございます。私共「JAO ユースオーケストラ」は、JAOの趣旨に賛同する全国のアマチュアオーケストラから各団を代表する青少年が集まって編成されるオーケストラです。今回は「JAOユース」ならびにこのオーケストラと密接な関係を持つ「トヨタ青少年オーケストラキャンプ」について少々説明させて頂きたいと思ひます。これにより私共の活動に対しより一層ご理解を頂ければ幸いに思ひます。

このフェスティバルにおける青少年部門は今では定着しておりますが、始まった当初は今で言う「社会人部門」のみが設けられていました。やがて青少年部門が設立され、定着していきましたが、練習・演奏あわせて2日間という短期間でした。回を重ねるにつれて青少年参加者の連帯感は強まっていき、そしてあることを考えるようになりました。それは「全国と同じ土俵で頑張る仲間たちが集まってくるのに、2日間では何をしようにも時間が足りない!」「もっと多くの時間を共有し、音楽を創り、語り合いたい!」という願ひでした。そして参加者たちの署名や手紙が功を奏し、青少年の青少年による青少年のための合宿「トヨタ青少年ミュージックキャンプ(後にオーケストラキャンプと改称)」が誕生しました。

1985年3月の第1回キャンプ以来、毎年3月に全国持ちまわりで開催されており、99年3月で15回を数えました。全国のアマチュアオーケストラで活動する青少年が毎年150~200名ほど集まり、3泊4日の合宿生活を通して様々なことを学んでいます。オーケストラの研修のみならず、参加者同士でそれぞれの団の抱えている悩みを打ち明け、他の団の現状を知り、刺激し合い助言し合える場でもあります。また、特別企画も毎年催され、その内容はプロ音楽家による演奏や講演、参加者による研究討論会、団紹介、そしてフォークダンスやゲーム大会など多岐にわたっています。

このキャンプは「参加者自身の手による運営」をモットーにしており、参加者のなかから名乗りをあげた20数名で運営委員会が組織されます。この運営委員会は、JAOや各団体の大人に支えられ、練習・生活・セレモ

ニーの3本柱で企画・運営を行います。こうして参加者自身がキャンプを創りあげていくことにより、将来のアマチュアオーケストラ活動を支えていくための勉強をすることができます。このことは、演奏レベルの向上と並んでこのキャンプの大きな目的であり、参加者は各自の所属する団にこの成果を持ちかえり、地元での活動に活かすことが望まれます。今回のフェスティバル開催に関しても、ホスト団体のなかのキャンプ参加経験者がキャンプで学んだことを活用して運営に携わることで立派にキャンプの目的は達成されるのでしよう。

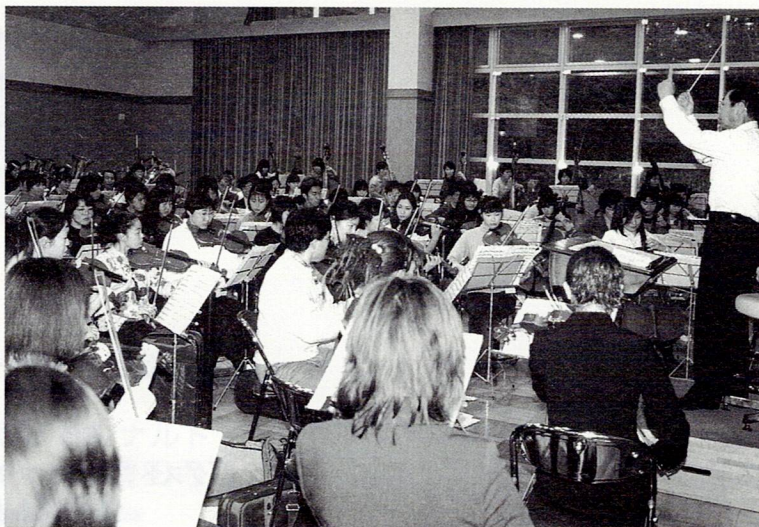
キャンプ開催3年目を迎えた1987年には、この活動と成果を広くアピールするために、3年間の総決算として「全国青少年オーケストラフォーラム'87」が開催されました。以来3年を1クールとし、ほぼ同じ曲目の研修を行い、3年目にはその成果を演奏会として発表するようになりました。97年からは1クールが2年間に縮まり、さらに集中した高いレベルの演奏を目指しています。このキャンプでは首席奏者も参加者の中から選ばれ、音楽に積極的に取り組みます。ミーティングを重ねてお互いの意思疎通をはかり、研修曲の研究・演奏に関する打合せ・首席奏者の役割について等、1つのオーケストラとして音楽を創り出すための話し合いをします。また、第一線で活躍するプロオーケストラ演奏家を各パートに1人ないし2人講師として4日間お招きし、楽器演奏技術やオーケストラでの演奏について心行くまで学ぶことができ、このことはキャンプの大きな魅力のひとつとなっています。

トヨタ青少年オーケストラキャンプは本年の3月で15回目を数えました。これはキャンプ第6期の1年目にあたり、来年には演奏会が開かれます。曲目は「運命の力」序曲、レスピーギの組曲「鳥」、そして「惑星」全曲です。今回のフェスティバルではそのうちの「運命の力」と「惑星」から「火星・金星・木星」を演奏いたします。演奏メンバーは大半が第15回オーケストラキャンプの参加者であり、首席奏者もキャンプで首席を務めているメンバーです。キャンプの運営委員たちは、フェスティバルの運営には関わりませんが、当日の手伝いには喜んで参加するでしよう。そして参加者1人1人が、キャンプでの反省を生かし、3月よりも更にレベルアップしてこの演奏会に臨むことと思ひます。



- 第1回 1985. 3. 25～28 流山青年の家（千葉県流山市）
指揮：尾高忠明 森下元康
チャイコフスキー：幻想的序曲「ロミオとジュリエット」
シベリウス：交響曲第2番 1・4楽章
- 第2回 1986. 3. 27～30 流山青年の家（千葉県流山市）
指揮：大友直人 森下元康
ハチャトゥリアン：組曲「仮面舞踏会」
シベリウス：交響曲第2番
- 第3回 1987. 3. 26～29 昭和女子大学人見記念講堂（東京都）
指揮：堤 俊作 三枝成彰 森下元康 Vn：徳永二男
三枝成彰：音楽の好きな街
リスト：ハンガリー狂詩曲第2番
ウェーバー：歌劇「オペロン」序曲
サン＝サーンス：序奏とロンド・カプリチオーソ
チャイコフスキー：幻想的序曲「ロミオとジュリエット」
- 第4回 1988. 3. 26～29 昭和女子大学東明学林（神奈川県足柄上郡）
指揮：森下元康
スメタナ：歌劇「売られた花嫁」序曲
ストラヴィンスキー：バレエ組曲「火の鳥」1919年版
シベリウス：交響曲第2番
- 第5回 1989. 3. 25～28 岐阜市少年自然の家（岐阜県）
指揮：森下元康
スメタナ：歌劇「売られた花嫁」序曲
シベリウス：交響曲第2番
ストラヴィンスキー：バレエ組曲「火の鳥」1919年版
ヴェルディ：歌劇「シチリア島の夕べの祈り」序曲
- 第6回 1990. 3. 28～31 市川市少年自然の家（千葉県）
サントリーホール（東京都）
指揮：十束尚宏 森下元康
スメタナ：歌劇「売られた花嫁」序曲
ストラヴィンスキー：バレエ組曲「火の鳥」1919年版
シベリウス：交響曲第2番
- 第7回 1991. 3. 28～31 市川市少年自然の家（千葉県）
指揮：森下元康
ベートーヴェン：「レオノーレ」序曲第3番
レスピーギ：交響詩「ローマの松」
サン＝サーンス：交響曲第3番 オルガン付
- 第8回 1992. 3. 27～30 愛知青少年公園（愛知県名古屋市）
指揮：森下元康
ベートーヴェン：「レオノーレ」序曲第3番
レスピーギ：交響詩「ローマの松」
サン＝サーンス：交響曲第3番オルガン付
外山雄三：管弦楽のためのラプソディ
ショパン：ピアノ協奏曲第1番
リムスキー＝コルサコフ：スペイン奇想曲
- 第9回 1993. 8. 19～22 愛知県芸術劇場（愛知県名古屋市）
指揮：秋山和慶
ベートーヴェン：「レオノーレ」序曲第3番
レスピーギ：交響詩「ローマの松」
サン＝サーンス：交響曲第3番 オルガン付

第1期



第2期

- 第10回 1994. 3. 25～28 市川市少年自然の家（千葉県）
指揮：森下元康
ハチャトゥリアン：組曲「仮面舞踏会」
バーバー：ヴァイオリン協奏曲 ベルリオーズ：幻想交響曲
ブリテン：シンプルシンフォニー
モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク
- 第11回 1995. 3. 27～30 ライフポートとよはし（愛知県豊橋市）
指揮：森下元康 笹崎榮一
ハチャトゥリアン：組曲「仮面舞踏会」
ラフマニノフ：ヴォカリース ベルリオーズ：幻想交響曲
バーバー：ヴァイオリン協奏曲
ブリテン：シンプルシンフォニー
モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク
- 第12回 1996. 7. 31～8. 3 東京文化会館（東京都）
指揮：秋山和慶 田久保裕一
ハチャトゥリアン：組曲「仮面舞踏会」
バーバー：ヴァイオリン協奏曲 ベルリオーズ：幻想交響曲
ブリテン：シンプルシンフォニー

第4期

第3期

- 第13回 1997. 3. 28～31 ライフポートとよはし（愛知県豊橋市）
指揮：森下元康 井崎正浩 富田欣一 笹崎榮一
Fl：菊地香苗
ドヴォルザーク：交響曲第8番 尾高尚忠：フルート協奏曲
外山雄三：管弦楽のためのラプソディ
芥川也寸志：弦楽のための三楽章
ウェーバー：歌劇「オペロン」序曲
- 第14回 1998. 3. 26～29 ライフポートとよはし（愛知県豊橋市）
指揮：井崎正浩 笹崎榮一 Fl：菊地香苗
ドヴォルザーク：交響曲第8番 尾高尚忠：フルート協奏曲
外山雄三：管弦楽のためのラプソディ
芥川也寸志：弦楽のための三楽章
ウェーバー：歌劇「オペロン」序曲

第5期

- 第15回 1999. 3. 26～29 七沢自然教室（神奈川県厚木市）
指揮：森下元康 栗田博文
ホルスト：組曲「惑星」全曲 レスピーギ：組曲「鳥」
ヴェルディ：歌劇「運命の力」序曲

第6期

8/8 14:00
フェスティバルコンサート'99
社会人オーケストラ演奏会

大ホール

社会人Aオーケストラ

指揮：田久保裕一
ゲストコンサートマスター：本庄篤子
Yuichi Takubo, Conductor
Atsuko Honsho, Concert Master

Aleksandr Porfir'evich Borodin (1833-87) ボロディン
2. Symphony 交響曲第2番

i. Allegro アレグロ
ii. Scherzo - Prestissimo スケルツォ - プレスティシモ
iii. Andante アンダンテ
iv. Finale - Allegro フィナーレ - アレグロ

社会人Bオーケストラ

指揮：金 洪才
ゲストコンサートマスター：深山尚久
Kim Hong Je, Conductor
Naohisa Miyama, Concert Master

Ottorino Respighi (1879-1936) レスピーギ
Feste Romane 交響詩「ローマの祭」
Poema Sinfonico

i. Circenses チルチェンセス
ii. Il Giubileo 五十年祭
iii. L'ottobrata 十月祭
iv. La Befana 主頭祭

◎ ◎ ◎



the 27th
Amateur Orchestra Festival
in Ichikawa
Festival Concert
8. August 1999

社会人Cオーケストラ

指揮：オンドレイ レナルト
ゲストコンサートマスター：豊田弓乃

Ondrej Lenard, Conductor
Yumino Toyoda, Concert Master

Antonín Dvořák (1841-1904) ドヴォルザーク
7. Symfonie op.70 B.141 交響曲第7番

i. Allegro maestoso アレグロ マエストーソ
ii. Poco adagio ポコ アダージョ
iii. Scherzo - Vivace スケルツォ - ヴィヴァーチェ
iv. Finale - Allegro フィナーレ - アレグロ

8. August 1999 1999年8月8日



the27th

Amateur Orchestra Festival
in Ichikawa
Festival Concert
8. August 1999

Orchestra

A

Aleksandr Porfir'evich Borodin (1833-87)
ボロディン

2. Symphony
交響曲第2番



田久保 裕一 (たくぼ ゆういち)

東京学芸大学音楽科卒業。指揮を伊藤栄一、伴有雄、汐澤安彦、秋山和慶の各氏に師事、またチェロ、室内楽を黒川健氏に師事。

1980年～1992年まで12年間、千葉県習志野市にて小中学校の音楽教師を務めるかたわら、多くのアマチュアオーケストラを指揮し、レパートリーを広げる。1992年に退職し、プロの指揮者に転向。

1992年～1993年、スイス・ルガノにおいてリヒャルト・シューマッヒャー氏に、ウィーンにてウィーン国立音楽大学のカール・エスターライヒャー教授、湯浅勇治氏、およびザルツブルク・モーツァルテウム音楽院のハンス・グラーフ教授に師事。最優秀者に与えられるマスタークラス終了演奏会に出演、ウィーン・プロ・アルテ・オーケストラを指揮する。また1993年8月、アウアースペルク宮殿主催の特別演奏会にて二夜ウィーン・レジデンツ・オーケストラを指揮し、ウィーン・デビュー。

1994年、上野学園大学音楽学部講師、桐朋学園付属子供のための音楽教室講師。1994年11月、ルーマニア・ブラショフ市で開催された第4回「ディヌ・ニクレスク」国際指揮者コンクールにおいてグランプリを受賞、同コンクールで日本人として初めて優勝に輝いた。また審査員特別賞「ルーマニア現代音楽演奏賞」と聴衆特別賞も併せて受賞し、ルーマニア国立「ジョルジュ・ティマ」フィルハーモニー交響楽団をたびたび指揮。演奏はテレビ・ラジオを通じて、ルーマニア全土に放送された。1995年4月、習志野市にて「コンクール受賞記念演奏会」を開く。また同年9月～10月、ルーマニア室内管弦楽団をルーマニア国内で指揮するとともに、同楽団を率いて来日公演し「豊かな感性と情熱溢れる演奏」と好評を博した。

1996年3月、ブラショフの「ジョルジュ・ティマ」フィルハーモニー交響楽団の定期演奏会に招かれ、絶賛を博す。1997年7月、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団東京国際フォーラム定期演奏会を指揮。また同年11月にスロヴァキア放送交響楽団を、12月にはルーマニアのパカウにて、国立「ミハイル・ジョラ」フィルハーモニー交響楽団を指揮するなど海外での活動も広がっている。

これまでに新星日本交響楽団、東京シティフィルハーモニック管弦楽団、京都市交響楽団をはじめ、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪シンフォニカー、日本フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、群馬交響楽団、東京交響楽団、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉等国内の主要オーケストラを指揮。また、全国のアマチュアオーケストラや合唱団の育成にも尽力している。日本指揮者協会会員。東京指揮研究会代表。



本庄 篤子 (ほんしょう あつこ)

東京芸術大学附属音楽高等学校、同大学を経て同大学院修士課程修了。故兎束龍夫、海野義雄、服部豊子、ジャン・ローラン、故西村新太郎の諸氏に師事。在学中、芸大オーケストラと協演。NHK「新人演奏会」、ジョイントリサイタル、室内楽等の演奏会、NHK-FM「午後のリサイタル」に出演。1982年-1988年の間に「デュオのタペ」I-VI「ピアノトリオのタペ」I-IIIを開催。1988年、1992年草月ホールにてリサイタルを開催。その間、東京交響楽団、東京ソリスト他とシベリウス、ベートーヴェン、メンデルスゾーン等の協奏曲を協演。東京ソリストコンサートマスターを務めたのち、現在はニューフィルハーモニーオーケストラ千葉コンサートマスターを務めるかたわら、ソロ・室内楽の演奏活動を続けている。



ボロディン：交響曲第2番

グルジア貴族の血を引くといわれるボロディンは子供のころから科学と音楽に強い興味を示し、母と養父の下で高い教育を受けピアノ、フルート、チェロの演奏と作曲を学びました。母の薦めで医師となってからも音楽への情熱は衰えず、1887年に亡くなるまでペテルブルクの軍医科大学の化学の教授を務めながらアマチュアとして作曲を楽しみました。また彼は大変進歩的な人で、当時ロシアでは女性が大学で学ぶことは許されていなかったのですが、この状況の中で女性が学ぶことができる医科大学の創設に尽力しました。ボロディンの研究室は、ロシアで公式に女性が医学を学ぶことができる最初の場所であったのです。医師となったある日、ロシア5人組の指導的立場にあったバラキレフに出会い、後に「ロシア5人組」と呼ばれるグループを結成することとなるリムスキー=コルサコフやムソルグスキーらとも知り合いとなります。バラキレフの薦めもあって大学での仕事と並行して本格的に作曲を始めることにしたボロディンですが、29歳になってから作曲をはじめ5年間かかって完成した第1交響曲が好評を得たため、彼はすぐに次の交響曲の作曲に取り掛かりました。のちに代表作となる歌劇「イーゴリ公」の作曲に時間を取られたため、第2交響曲が完成したのは作曲を始めてから8年のちのことでした。作曲が「イーゴ

リ公」と同時進行したため共通の要素も多く、また多くの打楽器を用いてスラブの香りを華麗に描き出している傑作とされています。ボロディンが活躍した当時のヨーロッパではナショナリズムの嵐が吹き荒れており、帝政ロシアもその真っ只中にありました。ヨーロッパの影響を強く受けていたロシアではとりわけ紛れもないロシアの民族を思い浮かべるような芸術や音楽が求められており、チャイコフスキーやリムスキー=コルサコフはロシア民謡などを直接の創造の源泉としましたが、ボロディンの音楽はそうではなく、ロシアの風景に結びついていると評されています。



the27th

Amateur Orchestra Festival in Ichikawa Festival Concert 8. August 1999

Orchestra Members

社会人Aオーケストラ

ヴァイオリン I

大槻 和子 習志野フィルハーモニー管弦楽団
 片山 悟志 栃木県交響楽団
 川守田 晴美 市原市楽友協会
 木村 章子 栃木県交響楽団
 坂本 美樹 市川交響楽団
 高橋 信太郎 千葉市管弦楽団
 竹内 みどり 我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団
 土屋 卓志 市川交響楽団
 福原 亜希 市川交響楽団
 松下 亮 富山シティフィルハーモニー管弦楽団
 松延 裕子 市川交響楽団
 八巻 和康 栃木県交響楽団
 山瀬 敦 大阪市民管弦楽団
 横田 富美子 市川交響楽団
 吉岡 一郎 市川交響楽団
 吉岡 記史子 宮崎シティフィルハーモニー管弦楽団
 吉沢 真弓 富山シティフィルハーモニー管弦楽団

ヴァイオリン II

上原 剛介 市川交響楽団
 内海 秀子 刈谷市民管弦楽団
 大林 美知子 成田フィルハーモニー管弦楽団
 緒志 早苗 市原市楽友協会
 川口 勝弘 山梨交響楽団
 小竹 優子 浦安シティオーケストラ
 鈴木 知英子 大阪市民管弦楽団
 鈴木 美和 栃木県交響楽団
 高澤 芳恵 栃木県交響楽団
 高田 賀夫 市川交響楽団
 田近 佐和子 緑交響楽団
 田丸 ますみ 市原市楽友協会
 永田 匡 市川交響楽団
 半田 正道 栃木県交響楽団
 村井 玄 関西シティフィルハーモニー交響楽団
 山本 裕子 宮崎交響楽団

ヴィオラ

相原 美音 市川交響楽団
 石井 一二三 市原市楽友協会
 石川 八谷 我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団
 打田 登紀子 四日市交響楽団
 木村 俊明 栃木県交響楽団
 坂上 耕三 習志野フィルハーモニー管弦楽団
 田淵 良子 市川交響楽団
 原口 博史 市川交響楽団
 藤田 浩子 千葉市管弦楽団
 山内 洋平 いわき交響楽団
 山崎 広行 近畿大学OB交響楽団
 渡部 玲子 市川交響楽団

チェロ

内田 浩美 三重フィルハーモニー交響楽団
 大矢 真由美 成田フィルハーモニー管弦楽団
 神野 洋平 葛飾フィルハーモニー管弦楽団
 喚阿 宏真 三重フィルハーモニー交響楽団
 白沢 史子 大分交響楽団
 竹内 嘉浩 奈良交響楽団
 田中 由美 大阪市民管弦楽団
 峰島 昌弘 習志野フィルハーモニー管弦楽団
 吉武 誠 習志野フィルハーモニー管弦楽団

コントラバス

新井田 哲史 山形フィルハーモニー交響楽団
 佐藤 るり 奈良交響楽団
 清水 勝 北海道交響楽団
 谷口 浩孝 名古屋シンフォニア管弦楽団
 戸田 利忠 緑交響楽団
 堀 史佳 岐阜県交響楽団
 宮下 連 栃木県交響楽団
 向山 則子 市川交響楽団
 吉沢 克仁 富山シティフィルハーモニー管弦楽団

フルート

安藤 直典 群馬シティフィルハーモニーオーケストラ
 中林 圭子 東京サロンオーケストラ
 深谷 千秋 名古屋市民管弦楽団
 山岸 光一 堺フィルハーモニー交響楽団

オーボエ

佐藤 麻衣子 酒田フィルハーモニー管弦楽団
 千葉 久美子 栃木県交響楽団
 深町 和良 市川交響楽団
 綿井 睦 船橋フィルハーモニー管弦楽団

クラリネット

北方 正喜 石川フィルハーモニー交響楽団
 田中 愛子 堺フィルハーモニー交響楽団
 藤島 菜美 秋田市管弦楽団
 吉野 智久 市川交響楽団

ファゴット

高橋 幸世 市川交響楽団
 田中 信幸 堺フィルハーモニー交響楽団
 深谷 俊宏 名古屋市民管弦楽団
 古屋 文弘 市川交響楽団

ホルン

井上 敬史 緑交響楽団
 大藤 勇二 町田フィルハーモニーオーケストラ
 小林 康 栃木県交響楽団
 中村 寿一 名古屋シンフォニア管弦楽団
 長谷川 潤 関西シティフィルハーモニー交響楽団
 水田 ひろし 横浜交響楽団

トランペット

木村 昭弘 船橋フィルハーモニー管弦楽団
 鈴木 健一 東京サロンオーケストラ
 中島 靖貴 清水フィルハーモニー管弦楽団
 縄野 光孝 我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団

トロンボーン

井手 利英 我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団
 岩本 大介 岡崎フィルハーモニー管弦楽団
 鈴木 香 緑交響楽団
 藪崎 裕至 市川交響楽団

チューバ

三浦 博文 アカデミー交響楽団

打楽器

金藤 勤 大阪市民管弦楽団
 斎藤 篤 千葉市管弦楽団
 坂田 博之 石川フィルハーモニー交響楽団
 谷口 仁美 市川交響楽団
 間中 志津江 中野区民交響楽団

ハープ

竹村 知子 倉敷管弦楽団



B

Ottorino Respighi (1879-1936)

レスピーギ

Feste Romane

Poema Sinfonico

交響詩「ローマの祭」

金 洪才 (Kim Hong Je)

1954年生まれ。桐朋学園大学音楽学部卒業。指揮を堤俊作、秋山和慶、小澤征爾の各氏に師事。'78年東京シティ・フィル特別演奏会でデビュー。'79年国際指揮コンクールで第2位と、初めての特別賞（齋藤秀雄賞）受賞。'80年、テレビ番組「オーケストラがやってきた」専属指揮者に選ばれ、'81年には、NTV系「私の音楽会」の専属指揮者として読売日響も指揮。以後、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団の指揮者を歴任の傍ら、東京都交響楽団をはじめ、全国主要オーケストラを客演指揮し、内外の著名なソリストとも共演してその優れた音楽性と鮮やかな指揮は好評を博してきた。'89年よりベルリンにおいて作曲家、尹伊桑（ユン・イサン）氏の下で研鑽を積む。'92年9月には、ニューヨーク・コーリアン交響楽団を指揮して、カーネギーホールでアメリカデビューを果し、成功をおさめた。'98年長野パラリンピック開幕式典演奏の指揮をつとめた。平成10年度渡邊暁雄音楽賞受賞。



深山 尚久 (みやま なおひさ)



東京芸術大学卒業。同大学院修了。ヴァイオリンを海野義雄氏に、室内楽をルイ・グレラー、ピュイグ・ロジェの両氏に師事。大学院在学中に東京フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスターに就任。以来、新星日本交響楽団、札幌交響楽団、広島交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団等、国内の主要オーケストラのコンサートマスターを歴任。1984年ドイツのフライブルグ国立音楽院に文化庁海外芸術家派遣研修員として留学、ヴォルフガング・マーシュナー氏に師事。1991年三枝成彰作曲のヴァイオリン協奏曲『雪に蔽われた伝説』の初演CDを東芝EMIよりリリース。同年、室内楽グループ『JYACMS』(Japan Young Artist Chamber Music Society)を結成、現在までに14回の定期演奏を開催。1997年台湾のキールン国際現代音楽祭にソリストとして招かれ、三枝成彰の協奏曲を演奏、好評を博す。1998年サントリーホールにて4曲の協奏曲を一夜で演奏する『ヴァイオリン・コンチェルトの夕べ』を、東京交響楽団と田中良和の指揮で開催。現在はフリーのヴァイオリニストとして、国内主要オーケストラとの協奏曲の協演や各地でのリサイタル、室内楽活動、放送出演等、日本の音楽界を担うヴァイオリニストとして、幅広く活躍している。

レスピーギ：

交響詩「ローマの祭」

1879年にイタリア・ポローニャに生まれたレスピーギは8歳でヴァイオリンを始め、12歳のころにはすでに優れたピアノ奏者、ヴィオラ奏者としての能力を示していました。13歳で作曲を勉強しはじめ、同時にポローニャのオペラ座付オーケストラでヴァイオリンとヴィオラの奏者となりましたが、この頃すでにロシアのペテルスブルク王立劇場から招聘が来るほどの腕前でした。その後モスクワのボリショイ劇場に参加するうちにロシアの影響を受けはじめ、リムスキー＝コルサコフを親しく訪れたりしています。ポローニャに戻ったあとレスピーギは1901年に音楽学校を卒業しますが、この後しばらくの間バッハやヴィヴァルディなど古い時代の音楽の研究に没頭し、バッハを中心とした作品の美しいオーケストラ編曲を完成させたり、古い時代の室内楽曲の編集・編纂をしたりします。この頃の経験が

「新しくも古い」と評されるレスピーギの音楽を形作っているという指摘をする人もあります。1913年にはローマのサンタ・チェチーリア音楽院の作曲科の教授となり後進の指導にあたりましたが、1936年にわずか56歳の若さで世を去りました。

「ローマの祭」はローマ三部作の最後を飾る作品としてレスピーギ49歳のときに発表されたもので、三部作の他の2作が松や噴水などローマの情景を対象にしていたのに比べ、ローマを舞台に繰り上げられる歴史的な祭りを描いているというところが異なります。



チルチェンセス

古代ローマの暴君ネロが円形競技場でキリスト教徒を見せしめのため虐殺する情景を描いています。

五十年祭

キリスト教で五十年毎に行われる大赦の祭りがこの五十年祭です。音楽はローマ巡礼団のありさまを描いており、ローマをたたえる歌声の中教会の鐘が力強く鳴り響きます。

十月祭

ぶどうの収穫を祝う十月祭が始まります。収穫を祝うローマの農民たちの踊りとマンドリンの甘い調べにのって若い恋人たちのささやきが聞こえてきます。

主頭祭

救世主の降誕を祝う祭りで、主頭祭の夜のローマのナヴォナ広場の喧騒を描いています。農民の歌、この地方独特の舞曲にのって踊る人々、手回しオルガン、物売りの声、酔っばらの騒ぎ声が渾然一体となってフィナーレを迎えます。

Orchestra Members

社会人Bオーケストラ

ヴァイオリン I

阿曾沼 和代 倉敷管弦楽団
 安藤 摂津子 市川交響楽団
 石原 富士子 習志野フィルハーモニー管弦楽団
 Naomi Wender アメリカ
 岡本 誠司 習志野フィルハーモニー管弦楽団
 加進 淑代 北海道交響楽団
 亀田 明佳 山形フィルハーモニー交響楽団
 加茂 さと子 市川交響楽団
 斎藤 文洋 俊友会管弦楽団
 鈴木 薫 市川交響楽団
 高橋 良昭 俊友会管弦楽団
 竹内 甲 市川交響楽団
 只野 孝子 中野区民交響楽団
 Donald Todd アメリカ
 二宮 伸雄 市川交響楽団
 平川 由紀子 久留米市民オーケストラ
 見上 真里子 会津市民オーケストラ
 宮城 佐知子 習志野フィルハーモニー管弦楽団

ヴァイオリン II

石本 恵理 市川交響楽団
 上田 佳津子 市川交響楽団
 薄 時子 高松交響楽団
 大森 彩子 倉敷管弦楽団
 片岡 真紀 横浜シティフィルハーモニック
 勝間 真子 習志野フィルハーモニー管弦楽団
 角地 永子 横浜シティフィルハーモニック
 神吉 絵美 世田谷フィルハーモニー管弦楽団
 亀井 玲子 市川交響楽団
 樽谷 美幸 倉敷管弦楽団
 津田 充 吹田市交響楽団
 鶴見 智枝 刈谷市民管弦楽団
 出村 静子 岩手県民オーケストラ
 平野 弘子 市川交響楽団
 山田 友美 半田市民管弦楽団

ヴィオラ

浅野 さとみ 市川交響楽団
 芦田 由可里 緑交響楽団
 猪鹿倉 映子 宮崎シティフィルハーモニー管弦楽団
 宇多 雅代 横浜交響楽団
 内田 綾美 市川交響楽団
 斎藤 昌彦 市川交響楽団
 高橋 雅英 船橋フィルハーモニー管弦楽団
 滝沢 有里子 ワグネルサイエティOBオーケストラ
 奈良林 弘子 市川交響楽団
 野口 方子 市川交響楽団
 野中 彩乃 市川交響楽団
 Frauke Peuker-Hollmann BDLO
 水野 由里 葛飾フィルハーモニー管弦楽団
 横山 淳 ワグネルサイエティOBオーケストラ
 吉田 純子 世田谷フィルハーモニー管弦楽団

チェロ

岩田 倫和 関西シティフィルハーモニー交響楽団
 雄鹿 知夫 松戸シティフィルハーモニー管弦楽団
 澤瀬 研介 大阪市民管弦楽団
 鈴木 康士 松戸シティフィルハーモニー管弦楽団
 竹内 暁 習志野フィルハーモニー管弦楽団
 豊川 哲也 北海道交響楽団
 平澤 菊治 福井交響楽団
 福原 耕二 市川交響楽団
 宮崎 比呂志 群馬シティフィルハーモニーオーケストラ

コントラバス

荒木 和路 ワグネルサイエティOBオーケストラ
 菊地 克彦 市川交響楽団
 高橋 好子 岩手県民オーケストラ
 中村 正徳 成田フィルハーモニー管弦楽団
 宮崎 麻子 市川交響楽団
 三輪 哲也 習志野フィルハーモニー管弦楽団
 森永 哲平 奈良交響楽団
 吉原 千枝 習志野フィルハーモニー管弦楽団

フルート

亀田 恭男 山形フィルハーモニー交響楽団
 木村 真諭紀 市川交響楽団
 小谷 敦 白金フィルハーモニー管弦楽団
 根本 美紀子 いわき交響楽団
 平野 靖 ワグネルサイエティOBオーケストラ

オーボエ

石橋 慶太 大阪市民管弦楽団
 佐川 朱美 徳島交響楽団
 山地 順子 市川交響楽団

クラリネット

井垣 貴嗣 市川交響楽団
 一瀬 直美 市川交響楽団
 入江 眞理 目黒区民交響楽団
 加納 利恵子 北海道交響楽団
 阪本 典弘 宮崎シティフィルハーモニー管弦楽団
 佐見 明美 緑交響楽団

ファゴット

柏木 敏幸 俊友会管弦楽団
 加進 聡 北海道交響楽団
 河田 信乃 白金フィルハーモニー管弦楽団
 中屋 ゆかり 大阪市民管弦楽団
 吉田 千夏 刈谷市民管弦楽団

ホルン

石塚 久恵 西春フィルハーモニーオーケストラ
 王身代 長博 山陰フィルハーモニー管弦楽団
 小柳 孝一郎 福岡市民オーケストラ
 近藤 利昭 市川交響楽団
 藤野 正敏 徳島交響楽団
 本間 吉剛 東京サロンオーケストラ
 松ヶ野やよい 宮崎シティフィルハーモニー管弦楽団
 宮武 宏明 高松交響楽団

トランペット

安藤 宣明 市川交響楽団
 小橋 一之 大阪市民管弦楽団
 武田 尚夫 宮崎シティフィルハーモニー管弦楽団
 田中 裕 柏交響楽団
 中山 秀嗣 佐倉フィルハーモニー管弦楽団
 林 正樹 北海道交響楽団
 原田 宗範 倉敷管弦楽団
 前田 憲宏 刈谷市民管弦楽団

トロンボーン

荒木 真 帯広交響楽団
 岡田 茂朗 ワグネルサイエティOBオーケストラ
 橋内 哲治 会津市民オーケストラ
 田中 誠 富士フィルハーモニー管弦楽団
 山田 誠 茨城交響楽団
 横山 隆充 福島市民オーケストラ

テューバ

氏家 豊 佐倉フィルハーモニー管弦楽団
 寺田 裕司 浜松交響楽団

打楽器

浅野 晃次 東京グリーン交響楽団
 猪鹿倉 潔 宮崎シティフィルハーモニー管弦楽団
 今泉 好雅 浜松交響楽団
 岩橋 正治 市川交響楽団
 上柿 泰平 関西シティフィルハーモニー交響楽団
 鈴木 充 埼玉フィルハーモニー管弦楽団
 橋本 邦子 吹田市交響楽団
 林 香里 徳島交響楽団
 湯浅 由美子 大阪市民管弦楽団
 横山 浩 中野区民交響楽団

ピアノ

澤瀬 久美 大阪市民管弦楽団
 半藤 陽子 賛助出演

マンドリン

三保 直樹 賛助出演

オルガン

伊藤 麻子 賛助出演



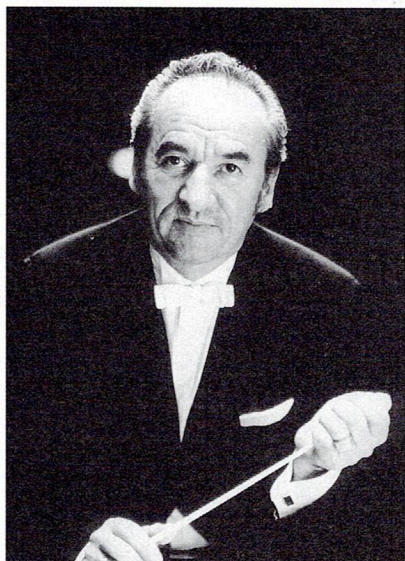
the 27th

Amateur Orchestra Festival
in Ichikawa
Festival Concert
8. August 1999

Antonín Dvořák (1841-1904)
ドヴォルザーク

7. Symfonie op.70 B.141
交響曲第7番

オンドレイ・レナルト (Ondrej Lenard)



1942年生まれ。1964年までブラチスラヴァ芸術アカデミーでルドヴィト・ライテルに指揮を学ぶ。1977年、ブラチスラヴァの旧チェコスロヴァキア放送交響楽団の首席指揮者に就任し、1990年までその地位にいた。この期間中に同オーケストラと1000回以上に及ぶスタジオ収録が行われた。1974年のブダペスト国際指揮者コンクールで第3位に入賞した。1984年から1986年までスロヴァキア国立歌劇場の首席指揮者を務める一方、ウィーン国立歌劇場をはじめとして、ナポリ、ヒューストン・グランド・オペラ、ブダペスト国立歌劇場にたびたび客演している。近年は、ウィーン国立歌劇場で「蝶々夫人」、ヒューストン・グランド・オペラで「トスカ」等を指揮。1991/92年のシーズンよりスロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者に就任。日本へは1978年の初来日以降度々来日し、新星日本交響楽団をはじめ、東京フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、群馬交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪センチュリー交響楽団、九州交響楽団などに客演。新星日本交響楽団には1979年以来定期的に客演し、首席客演指揮者を経て、1993年4月より首席指揮者に就任、1999年4月より、同楽団の名誉指揮者、芸術顧問に就任する。95年5月新星日本交響楽団第2次ヨーロッパ公演で、同オーケストラを率いて「プラハの春」国際音楽祭、氏の本拠地スロヴァク・フィルハーモニーホールなどで演奏し、絶大なる賞讃を受けた。96年9月27日、ブラチスラヴァ国際音楽賞のオープニング・コンサートでマーラー交響曲第8番「千人の交響曲」を同地初演、大喝采を浴びた。この功績により、スロヴァキアの“今年の国民大賞”として表彰された。97年1月より、伝統あるスロヴァキア国立歌劇場（ブラチスラヴァ）オペラ・バレエ音楽総監督に就任した。6月には「トスカ」の新プロダクションを指揮する。1998年12月までその任を務める。エネルギッシュな指揮ぶりの反面、音楽に対しては、冷静かつ緻密な姿勢で取り組んでおり、高い評価を得ている。「真のマエストロ」として、今後の活躍が期待されている。

豊田 弓乃 (とよだ ゆみの)

1962年ドイツ生まれ。幼少より父、豊田耕児に音楽教育を受ける。1978年パリ・コンセルヴァトワールで1等賞を得、17歳にしてスイス・ルツェルン音楽祭にデビュー。その後、パリにおいてユーディ・メニューインとデュオコンサートを行うなど10代にしてヨーロッパ各地で活発な演奏活動をはじめ。その間、1980年ジュネーブ国際音楽コンクール第2位（1位なし）をはじめ数多くの国際コンクールに入賞。ソリストとしてはスイス・ロマンダ管弦楽団、東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団と共演する。また、ベルリン・フィルハーモニーのメンバーとCDレコーディングに参加するほか、ベルリン放送交響楽団、ローザンヌ室内管弦楽団と度々TV出演している。オーケストラ活動では、カラヤン財団の特別給費生としてベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の演奏に参加。その後、ベルリン放送交響楽団団員を経て1985年から1986年までバンベルグ交響楽団第2コンサートマスター、1991年からはローザンヌ室内管弦楽団第1コンサートマスターの重責を務めている。

Orchestra

C



モリスでオーケストラを指揮、バイオリン、管楽器、打楽器、ピアノなど

ドヴォルザークは、あんなに
此れが、

ドヴォルザーク：

交響曲第7番

生前からすでに世界的な名声を勝ち取っていたブラームスは、オーストリア文部省の奨学金制度の審査委員を務めていましたが、この奨学金の選考会において当時ブラハという片田舎でしか知られていなかったドヴォルザークを強力に後押しし、その結果奨学金の受給が決まったことをきっかけと

して、ドヴォルザークとブラームスは生涯変わらぬ親交を結びます。

1884年の初めにブラームス自身がピアノで弾く交響曲第3番をドヴォルザークは聴いており、このブラームスの第3がドヴォルザークを新作交響曲の創作に駆り立てたと



いわれています。

1884年3月にイギリスのフィルハーモニー協会からの招聘を受けドヴォルザークは初めてイギリスを訪れました。当時ロンドンでスター指揮者として活躍していたハンス・リヒターが事前に演奏会でドヴォルザークの作品を取り上げるなど、万全の態勢でお膳立てしたこともあって、ドヴォルザークは「スターバトマーテル」を始めとする自作を指揮して一大センセーションを巻き起こし、イギリスでは「ボヘミアのブラームス」とまで呼ばれるようになります。この初めての訪英で大成功を収めた結果、得た収入を使ってヴィソカーという小村に別荘を買ったドヴォルザークは、彼がこよなく愛した静かな田舎の自然に囲まれて、ロン

ドンのフィルハーモニー協会から新たに委嘱された交響曲の創作を開始します。こうして生まれた音楽がこの交響曲第7番でした。

1885年にこの新作交響曲を携えて再度イギリスに渡ったドヴォルザークはロンドンフィルを指揮してこの曲を初演し、「滅多に見られないほどの熱狂」をもって迎えられ、またもや大成功を収めます。この交響曲はリヒター、ビューロー、ニキシュという希代の名指揮者によって演奏され、それによって交響曲作曲家としてのドヴォルザークの名はアメリカにまで広まることになるのです。

the27th

Amateur Orchestra Festival in Ichikawa Festival Concert 8. August 1999

ヴァイオリン I

Saskia Ascui 南アフリカ
伊賀 敏樹 堺フィルハーモニー交響楽団
岩撫 米次 習志野フィルハーモニー管弦楽団
大場 紋子 岐阜県交響楽団
奥田 澄子 大阪市民管弦楽団
片山 光弘 群馬シティフィルハーモニーオーケストラ
橘田 武子 目黒区民交響楽団
近藤 健二 群馬シティフィルハーモニーオーケストラ
笹川 仁保 郡山市民オーケストラ
佐藤 純子 郡山市民オーケストラ
高木 和恵 葛飾フィルハーモニー管弦楽団
中田 充紀 松戸シティフィルハーモニー管弦楽団
中野 聖子 刈谷市民管弦楽団
二宮 伸雄 市川交響楽団
萩原 美文 アンサンブル・ロイヤル
春山 桂子 郡山市民オーケストラ
福島 敏泰 船橋フィルハーモニー管弦楽団
二村 絢子 石川フィルハーモニー交響楽団
細川 由紀子 豊田フィルハーモニー管弦楽団
Jana Pavlíková チェコ
Anja Morgenstern ドイツ

ヴァイオリン II

荒川 奈月 葛飾フィルハーモニー管弦楽団
井潤 健太郎 大津管弦楽団
大谷 優 刈谷市民管弦楽団
大野 明子 高知交響楽団
加藤 良子 半田市民管弦楽団
木村 啓子 倉敷管弦楽団
Gonda Schemann BDLO
白澤 立基 酒田フィルハーモニー管弦楽団



Orchestra Members

社会人C オーケストラ

Antje Simak 南アフリカ
鈴木 みどり 刈谷市民管弦楽団
高橋 洋子 岩手県民オーケストラ
田辺 恭 八王子フィルハーモニー管弦楽団
野村 朋子 浦安シティオーケストラ
福田 名純 金沢室内管弦楽団
藤村直幸 長岡京市民管弦楽団
八木 裕子 モーツァルトアンサンブルオーケストラ
山内 幸子 会津市民オーケストラ
山路 圭子 鹿児島交響楽団
山寺 タエ 会津市民オーケストラ
横田 佐貴絵 市川交響楽団
渡邊 由紀子 山陰フィルハーモニー管弦楽団

ヴィオラ

浅井 直樹 ワグネルソサイエティOBオーケストラ
行田 洋子 福岡市民オーケストラ
磯尾 美鈴 豊田フィルハーモニー管弦楽団
小川 厚子 四国フィルハーモニー管弦楽団
Soňa Kasalová チェコ
栗山 明子 川崎市民交響楽団
栗山 劭 川崎市民交響楽団
小暮 律子 近畿大学OB交響楽団
齋藤 良徳 酒田フィルハーモニー管弦楽団
相馬 正典 市川交響楽団
長塚 久夫 大阪市民管弦楽団
成宮 義和 習志野フィルハーモニー管弦楽団
福田 康男 久留米市民オーケストラ
藤井 しのぶ 大阪市民管弦楽団
水野 敦子 岐阜県交響楽団
森川 昌彦 柏交響楽団
屋木 美津恵 奈良交響楽団
吉武 桂子 習志野フィルハーモニー管弦楽団
吉野 泰明 いわき交響楽団

チェロ

阿部 究 金沢室内管弦楽団
安藤 利博 奈良交響楽団
飯塚 美紀子 山陰フィルハーモニー管弦楽団
伊賀 みどり 堺フィルハーモニー交響楽団
池田 寛之 市川交響楽団
井戸 英二郎 岐阜県交響楽団
市根井 真紀 沖縄交響楽団
岩間 佐智子 成田フィルハーモニー管弦楽団
河内 美恵子 和歌山市交響楽団
木島 敏子 千葉市管弦楽団
新家 潤子 大阪市民管弦楽団
須藤 篤 東京サロンオーケストラ
豊田 祐子 浜松交響楽団
永井 友子 浜松交響楽団
福原 康雄 福島市民オーケストラ
藤原 裕子 大阪市民管弦楽団

コントラバス

合田 美加 四国フィルハーモニー管弦楽団
加藤 幹雄 山陰フィルハーモニー管弦楽団
金子 充 茨城交響楽団
高坂 正臣 浜松交響楽団
杉浦 康夫 豊橋交響楽団
杉原 道彦 アンサンブル・ロイヤル
鈴木 重則 市川交響楽団

長谷川 隆子 市川交響楽団
広瀬 哲 大阪市民管弦楽団
松井 淳一 埼玉交響楽団
望月 隆史 北海道交響楽団
山内 美佐子 アンサンブル・ロイヤル

フルート

岩瀬 豪 船橋フィルハーモニー管弦楽団
木村 純一 市川交響楽団
平井 麻衣子 東京サロンオーケストラ
三輪 弦子 習志野フィルハーモニー管弦楽団

オーボエ

太田 美由紀 戸田交響楽団
佐藤 孝雄 目黒区民交響楽団
村上 和弘 千葉市管弦楽団
吉田 史朗 市川交響楽団

クラリネット

家城 和也 中野区民交響楽団
岩野 英穂 船橋フィルハーモニー管弦楽団
佐藤 公彦 八王子フィルハーモニー管弦楽団
鈴木 三幸 西春フィルハーモニーオーケストラ

ファゴット

浅野 周 沼津交響楽団
石丸 義和 久留米市民オーケストラ
戸塚 晃 柏交響楽団
中村 志保里 大阪市民管弦楽団

ホルン

岩本 裕子 久留米市民オーケストラ
勝田 裕之 中野区民交響楽団
木村 かおり 豊橋交響楽団
佐藤 浩之 いわき交響楽団
嶋村 恒夫 市川交響楽団
砂原 宏美 宮崎シティフィルハーモニー管弦楽団
西澤 里 四日市交響楽団
古屋 千恵 目黒区民交響楽団

トランペット

鈴木 祥夫 豊橋交響楽団
高畑 幸世 名古屋シンフォニア管弦楽団
畠山 治 目黒区民交響楽団

トロンボーン

石垣 輝彦 千葉市管弦楽団
木村 智則 豊橋交響楽団
坂田 圭 戸田交響楽団
杉本 和昭 岐阜県交響楽団
山田 一弘 沼津交響楽団
山田 正明 大阪市民管弦楽団

ティンパニ

岡崎 寿範 久留米市民オーケストラ

8/8 10:00-11:30
アマチュア
オーケストラ **運営協議会**

大会議室

川又 祐	秋田市管弦楽団
齋藤 龍弥	酒田フィルハーモニー管弦楽団
長谷川 耕二	山形フィルハーモニー交響楽団
東 誠一	会津市民オーケストラ
田畑 千明	戸田交響楽団
中村 真広	千葉市管弦楽団
桑原 七男	松戸シティフィルハーモニー管弦楽団
河原 隆	成田フィルハーモニー管弦楽団
片野 勝也	東京サロンオーケストラ
中村 太一	目黒区民交響楽団
伏見 寛之	沼津交響楽団
石垣 宏平	静岡フィルハーモニー管弦楽団
仙波 康之	浜松交響楽団
佐藤 信子	豊橋交響楽団
竹内 建造	半田市民管弦楽団
田川 賢二	西春フィルハーモニーオーケストラ
武田 朋子	西春フィルハーモニーオーケストラ
戸本 保子	岐響ジュニアオーケストラ
伊藤 ひでみ	富山シティフィルハーモニー管弦楽団
上口 大介	石川フィルハーモニー交響楽団
大村 松雄	石川フィルハーモニー交響楽団
針多 節代	石川フィルハーモニー交響楽団
武友 映次	大阪市民管弦楽団
立花 良一	近畿大学OB交響楽団
松田 齊	関西フィルハーモニー交響楽団
佐村木 正和	堺フィルハーモニー交響楽団
友前 俊男	西宮交響楽団
滝口 善之	高松交響楽団
楠瀬 幸雄	徳島交響楽団
中山 直之	四国フィルハーモニー管弦楽団
石橋 正秀	福岡市民オーケストラ
田北 洋康	熊本交響楽団
金城 努	沖縄交響楽団
瑞慶山 薫	沖縄交響楽団
宮城 茂光	沖縄交響楽団
與儀 幸英	沖縄交響楽団
岩本 克行	栃木県交響楽団
坂倉 元	三重フィルハーモニー管弦楽団
服部 驥	習志野フィルハーモニー管弦楽団
松尾 卓哉	俊友会管弦楽団
赤木 芳子	山陰フィルハーモニー管弦楽団
大塚 哲夫	新潟交響楽団
斉藤 和洋	宮崎交響楽団

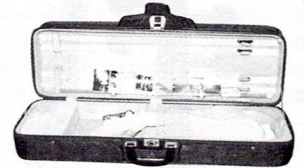
8/7 13:30-17:30
JA0フェスティバル弦楽クリニック

小ホール

ヴァイオリン I

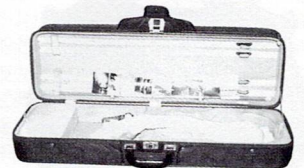
赤木 芳子	山陰フィルハーモニー管弦楽団
浅野 由未	堺フィルハーモニー交響楽団
伊藤 桜子	船橋フィルハーモニー管弦楽団
笠松 秀臣	市川交響楽団
坂倉 元	三重フィルハーモニー交響楽団
坂本 安由	いわき交響楽団
柴田 孝枝	東京サロンオーケストラ
渋谷 亨	足利市民交響楽団
鈴木 陽子	我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団
竹島 真理子	我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団
立田 祥子	市川交響楽団
田中 容子	習志野フィルハーモニー管弦楽団
成田 恵子	我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団
野平 容子	岐響ジュニアオーケストラ
矢倉 章子	東京サロンオーケストラ
山田 泉	江戸川フィルハーモニーオーケストラ
横田 健	中野区民交響楽団

嶋田 俊比古 緑交響楽団
鈴木 龍司 市市音楽友協会
平光 真彌 岐阜県交響楽団
星 乗昭 市川交響楽団
松尾 聡子 堺フィルハーモニー交響楽団
松尾 卓哉 俊友会管弦楽団
三宅 利往 堺フィルハーモニー交響楽団
横田 裕美子 中野区民交響楽団



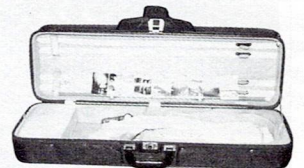
チェロ

明星 稔	江戸川フィルハーモニーオーケストラ
稲見 行男	江戸川フィルハーモニーオーケストラ
桜田 通雄	習志野フィルハーモニー管弦楽団
田島 啓視	足利市民交響楽団
根岸 朋子	市川交響楽団
野中 能久	市川交響楽団
日澤 優	市川交響楽団
三宅 智子	岐阜県交響楽団
美甘 和子	浜松交響楽団
本橋 裕	緑交響楽団



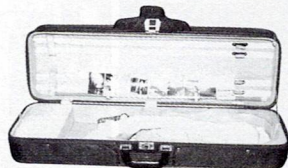
コントラバス

浅野 啓行	堺フィルハーモニー交響楽団
池田 和正	市川交響楽団
君塚 清	千葉市管弦楽団
八欽 健	大阪市民管弦楽団



ヴァイオリン II

石澤 景一	モーツァルトアンサンブルオーケストラ
大森 翠	岐阜県交響楽団
斎藤 めぐみ	いわき交響楽団
城田 礎	江戸川フィルハーモニーオーケストラ
関内 千瑞佳	いわき交響楽団
竹内 まり	市川交響楽団
立石 宣子	松戸シティフィルハーモニー管弦楽団
富原 朗	緑交響楽団
福井 康祐	江戸川フィルハーモニーオーケストラ
松尾 昌枝	俊友会管弦楽団
水井 由紀子	我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団
山口 正明	堺フィルハーモニー交響楽団
若尾 裕久	ワグネルソサイエティOBオーケストラ



ヴィオラ

江崎 まどか	岐阜県交響楽団
大江 利通	江戸川フィルハーモニーオーケストラ
黒田 幸子	我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団
小谷 友希子	堺フィルハーモニー交響楽団
斉藤 和洋	宮崎交響楽団

弦楽クリニック

講師紹介

永峰高志 (ヴァイオリン)



1958年東京に生まれ、73年、東京芸術大学附属音楽高等学校に入学し、在学中の74年に「全日本学生音楽コンクール東日本大会」において奨励賞を受賞する。80年に東京芸術

大学を卒業し、NHK・FM新人演奏会に出演するとともに、NHK交響楽団に入団し、現在に至っている。その間、ヴァイオリンを鷺見三郎、鷺見健彰、福元 裕、田中千香士、ジャン＝ローラン、室内楽を「巖本真理弦楽四重奏団」、伊達 純、ルイ＝グレラーの各氏に師事している。

最近ではオーケストラのみならず、ソロ、室内楽、指揮など、幅広い音楽活動を展開している。92年にはサントリー小ホールにおいてソロ・リサイタルを開催し、好評を博しているし、その他、オーケストラとの共演などソロ活動を充実させる一方、「N響室内楽の夕べ」ではウォルフガング＝サヴァリッシュ氏とも共演し、89年から91年までは「ゼフィルス弦楽四重奏団」、80年から92年までは「東京プロアルテ合奏団」同人として活躍するなど、室内楽の分野にも積極的に取り組んでいる。更に95年11月には名古屋白川ホールにおけるN響メンバー・オーケストラによるコンサートで、田中カレン氏作曲の「ウェブ・メカニクス」「キャニオン（世界初演）」で指揮者デビューを果たし、賞賛を浴びた。

97年から始まった神戸松方ホールにおいてのN響メンバーによるモーツァルト交響曲連続演奏会にて指揮者なしのオーケストラのコンサートマスターとして出演し成功をおさめ、室内楽の延長上としてのオーケストラの可能性も追求している。また東京芸術大学附属音楽高等学校の非常勤講師として後進の指導にもあたっている。

根津昭義 (ヴァイオリン)

昭和24年1月6日東京（葛飾区）で生まれる。3歳よりヴァイオリンを始める。昭和42年東京大学に入学。翌昭和43年からの学生運動の中で、音楽の道に転身することを決意。昭和46年東京大学卒業後、翌昭和47年東京芸術大学に入学。昭和51年同大学卒業後、NHK交響楽団に入団、現在に至る。山岡 箒、田中千香士の両氏に師事。現在NHK交響楽団ヴァイオリン奏者、日本演奏連盟会員。

リサイタル、室内楽での演奏活動の他に、地域のアマチュアオーケストラ（市川交響楽団）や後進の指導（Muse音楽教室）も積極的に行っている。

また家族3人でヴァイオリン独奏、ピアノ独奏、ピアノ連弾、ヴァイオリン1台とピアノ



2台による合奏と多彩なプログラムによるファミリーコンサートを毎年開く（子供劇場、チャリティーコンサート、学校、幼稚園の音楽教室等）。

井戸田 善之 (コントラバス)

1956年 東京生まれ。

1979年3月 洗足学園大学卒業。同年4月 NHK交響楽団入団。

1989年より草津国際音楽アカデミーに出演。又、田中千香士合奏団・東京合奏団のメンバーとしても活躍。

1990年より、台東区旧東京音楽学校奏楽堂における室内楽シリーズを企画、制作。1997年より、神戸新聞社松方ホールにおいてモーツァルト・シリーズを企画、制作。1995年より、カザルスホール・ピオラ・スペースに出演。1997年より、カザルスホールアンサンブルのメンバーとして出演。NHK・FM、TVにも出演。現在、洗足学園大学、聖徳大学において、後進の指導にもあたっている。



中竹英昭 (ヴィオラ)

1954年 熊本県人吉市生まれ。7歳よりヴァイオリンを始め、後にヴィオラに転向。

1977年、東京芸術大学卒業と同時に読売日本交響楽団に入団。ヴィオラ副首席

奏者として1987年まで在籍。

1988年、NHK交響楽団に入団。現在に至る。また、室内楽の分野においても、貴重なヴィオラ奏者として数多くの演奏会に出演している。

(故) 井上武雄 中塚良昭 菅沼準二の各氏に師事。



三谷広樹 (チェロ)



島根県生まれ。チェロを青木十良、小沢 弘の両氏に師事。

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て同大学を卒業。その後、NHK交響楽団に入団、現在に至る。

N響で演奏するかたわら仙台フィル・ハーモニー管弦楽団では前身の宮城フィル・ハーモニー管弦楽団の頃よりゲスト首席奏者として迎えられている。又、独奏、室内楽などでは「オルビス弦楽四重奏団」、1986年より「草津国際音楽フェスティバル」に、九州交響楽団のメンバーを中心とした「福岡アンサンブル・コレージュ」にゲスト参加するなど演奏会、放送、レコーディングなどで幅広く演奏活動を行なっている。

尚、N響の桂冠名誉指揮者W＝サヴァリッシュ氏をはじめ、ラルデ（フルート）、ベネット（フルート）、アドリアン（フルート）、ホリガー（オーボエ）パッシン（オーボエ）、故シヴィル（ホルン）、トルコヴィッチ（ファゴット）といった名演奏家の各氏との共演も数多い。